

2. キャリアガイダンス室を活用しよう

1 「キャリアガイダンス室」とは何か

〔1〕意味

キャリアガイダンス室（現在のところは仮称です）は、各機関との相互連携を密に図り、相談者に身近で、付加価値の高い必要な情報を協働で情報収集・提供し、相談者の自立的・自発的学修者の育成を図ることを目的としています。

〔2〕機能

キャリアガイダンス室の役割を簡単にまとめると以下ようになります。

- ① 学修支援(相談)機能→コーディネート機能
- ② ハブ的機能
- ③ セーフティ・ネット的機能

はじめ ① の学修支援（相談）機能→コーディネート機能とは、これからの学生や職業キャリア形成に向けての学びや履修のための総合的窓口としての役割です。具体的には資格取得のための履修相談などです。

次 ② のハブ的機能とは、学生と教員や関連機関（部局）への架け橋としての役割です。具体的には、病院の総合相談窓口のような機能です。

最後 ③ のセーフティ・ネット的機能とは、たとえば進路を変更し、これからの進路に悩んだ場合の学修支援（相談）機能です。この機能は、はじめ ① の機能を補完するものといえます。

2 平成23年度の形態

このような目的、役割をもった「キャリアガイダンス室」ですが、平成23年度は履修支援（相談）機能に特化した形でパイロット的に実施します^{注1)}。具体的には以下の形態となります。

- (1) 在校生のガイダンス期間（4月28日、29日、30日）に教務部内の各学部のブロックにおいて、学科担当教員が皆さんの履修

注1) 今年度は常設機関ではなく、期間限定で設置します。

(学修) 支援を行います。

- (2) それ以降の期間での学修 (学修) 支援は、リエゾンゼミ I^{注2)} の担当教員 (主担任・副担任) がその任にあたります (1年生はリエゾンゼミ I の担当教員、2年次以降は専門基礎演習や専門演習の担当教員となります)。

注2) 1年次はリエゾンゼミ I (基礎演習)、2年次はリエゾンゼミ II (専門基礎演習)、3年次以降は、専門演習をそれぞれ履修することになります。

必ず相談してくださいという訳ではありません。履修に関して疑問があったり、悩んだりした場合には活用 (相談) すればよいのです。リエゾンゼミ I の担当教員や2年次のリエゾンゼミ II (専門基礎演習)、3年次の専門演習 I、4年次の専門演習 II の担当教員は、皆さんにとってのアドバイザー的な位置づけになりますので、どうぞ積極的に活用してください^{注3)}。

注3) 繰り返しますが、ここで紹介した「キャリアガイダンス室」の機能は完成した際のものであり、平成23年度はその一部をパイロット的に実施するものですし、組織も常設ではなく期間限定のものとなっています。したがって、常に目に見える組織となっていないことに注意してください。

アドバイザー

- (1) 4節に述べたように本学では主専攻の他に副専攻の課程 (「感性デザイン課程」「福祉観光課程」「スポーツマネジメント課程」「臨床美術課程」「社会貢献活動支援課程」) が設けられていますが、これらの課程には専任教員が (アドバイザーとして) 配置 (各1名) されている。
- (2) 各種資格 (「福祉」「保育」「教職」「心理」「保健・看護」「リハビリ」「情報」「医療」) もさまざまな指導室や研究室がアドバイザーの機能を果たします。詳しくは教務部まで。

まずはキャリアガイ
ダンス室へ行こう！



福祉の仕事を通して
人の役に立つには？



地域のために一隅を照
らす人になりたい！



“自分探し” から始
めたいけど…

